

第2回定例会 一般質問登壇順

登壇順番	議席番号	氏 名
1	11	刈 田 敏
2	1	北 村 嗣 雄
3	4	中 村 ひとみ
4	8	高 橋 宏
5	3	普 本 歌 織
6	5	高 橋 敏 樹
7	2	真 嶋 実
8	6	唐仁原 俊 博

一般質問通告書

令和 5 年 5 月 31 日

午前/午後 8 時 30 分 受領

質問事項	質問要旨 (具体的内容)	答弁を求める者
公共施設について	平成31年3月に出された「公共施設個別施設計画」に	町長
	ついて現状と課題について伺う。	
	・沢内庁舎 (老人福祉センター)	
	・沢内庁舎 (開発総合センター)	
	・湯田庁舎	
	・文化創造館 (銀河ホール)	
	・文化創造館 (Uホール)	
	・西和賀さわうち病院	
	○教育施設も含め、今後の個別施設計画のあり方について伺う。	
	○公共施設全体の日常点検の状況について伺う。 (除雪対応等含む。)	
	○メンテナンスの有無により、経費の差が生ずると考える メンテナンスの考え方について伺う。	

上記のとおり通告します。

令和 5 年 5 月 31 日

西和賀町議会議長 高橋 雅一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 11番

氏名 刈田 敏



一般質問通告書

令和 5 年 5 月 29 日

午前/午後 10 時 30 分 受領

質問事項	質問要旨(具体的内容)	答弁を 求める者
町の財政健全化について	<p>少子高齢化に伴う人口減少により、今後さらに厳しい財政状況が見込まれます。</p> <p>次の施策事項について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 中期財政計画について<ul style="list-style-type: none">・令和2年度に策定されたが、これまでの進捗状況を伺う。・到達目標に中期財政計画の着実な遂行と述べているが、達成可能か伺う。2. 財源の確保について<ul style="list-style-type: none">・未収金の収納対策について、現状と取組を伺う。・資金運用について、運用状況と新たな運用方法について伺う。3. 第三セクターの経営改善について<ul style="list-style-type: none">・現状と課題を伺う。・第三セクターに関する町の財政的リスクの軽減についての対応を伺う。	町長

上記のとおり通告します。

令和 5 年 5 月 29 日

西和賀町議会議員 高橋 雅一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 1 番

氏名 北村 嗣雄



一般質問通告書

①

令和 5 年 5 月 31 日

午前(午後) 1 時 00 分 受領

質問事項	質問要旨(具体的内容)	答弁を求める者
1. 移住コーディネーター事業について	<p>① 5月1日に発行された広報西和賀に移住コーディネーターとして2人を委嘱したとの記事が掲載されていた。2人の活動は「移住に関する相談と情報発信」と記事中にあったが、具体的にどのような相談と情報発信を行うのか、町が直接行っている移住・定住業務とも関連づけてその詳細について伺う。</p> <p>② 移住コーディネーターの内容や活動等に関し町のホームページ上で掲載が見当たらなかった。町外、あるいは県外の方に対する当該事業の情報発信が不足しているように感ずるが、十分と考えているのかどうか伺う。</p>	町 長
2. 観光振興について	<p>① 町は、町内飲食店等に、本町を訪れた観光客の満足度を調査するため、「春の観光満足度調査(アンケート)」と題するチラシを作成配布し、店舗等の来客者に対しアンケートの協力を求めている。この、協力依頼チラシには、画像が6点使用されているが、このうち5点は錦秋湖の風景写真が使用されている。町には山、川、温泉、食事など魅力的かつ特色ある観光資源があるにも関わらず、それらを使用しなかった意図を伺う。</p> <p>② ニューヨーク・タイムズ紙が発表した「2023年に行くべき52か所」では、盛岡市がイギリスのロンドンに次いで、2番目に紹介され注目されている。令和5年5月11日付の岩手日報には、このことに関連し、「盛岡駅の観光案内所を訪れた外国人の数について、昨年4月は22人だったのに対し、今年は1,038人に急増した」との記事が掲載されていた。これは、本町にとっても誘客のチャンスである。そこで、盛岡方面からの来町者も多い本町としてインバウンド(外国人旅行者)に加え、県外の観光客誘致に向けてどのような取組をしていくのか伺う。</p>	町 長 教 育 長

上記のとおり通告します。

令和 5 年 5 月 31 日

西和賀町議会議員 高橋 雅一 殿



西和賀町議会議員

議席番号 4 番

氏名 中村 ひとみ



一般質問通告書

②

令和 5 年 5 月 31 日

午前/午後 1 時 00 分 受領

質問事項	質問要旨 (具体的内容)	答弁を求める者
2. 観光振興について	<p>③ 町が発行済みの観光パンフレットや今後発行予定のものを含めて、外国人観光客に対し、英語翻訳表示していくなどの取組は考えられないのか伺う。</p> <p>④ 町の将来の観光事業を推進していく上で、英語により案内のできる英語ガイドを利活用していくことは避けて通れないと考えている。英語を話せる観光ガイドを設置するようなことは考えられないか伺う。</p> <p>⑤ 町では英会話教室の一形態であるEカフェを行っている。前述の質問と関連するが、これをより強力に進めるため、希望者に対して、Eカフェの上位となる英語観光ガイドの育成事業を展開できないか伺う。</p>	町長 教育長
3. 旧貝沢小学校の跡地利用について	<p>① 若畑地区と貝沢地区の住民で組織し地域の活性化を推進する西和賀町北部活性化推進委員会から令和3年7月15日付で「旧貝沢小学校の跡地利用を推進するための要望書」が町に提出され、同年9月定例会では「旧貝沢小学校の跡地利用を推進するための請願書」が審査の結果採択されている。本件に関し、その後どの程度検討がなされたのか、検討状況について伺う。</p> <p>② 本件の要望事項の一つに、旧貝沢小跡地への観光案内所の設置が求められている。西和賀町全体の魅力を最大限に活用し地名度を向上させる手段として、町北側の玄関口である貝沢地区に観光案内所の設置が急務と考える。高原ふれあい産直ハウスは、観光マップなどパンフレットを置き観光案内所として一部を担っているが、冬季は休業するため通年で開所している観光案内所を設置することは観光客の満足度向上やイメージアップに繋がると思うが考えを伺う。</p>	町長

上記のとおり通告します。

令和 5 年 5 月 31 日

西和賀町議会議員 高橋 雅一 殿



西和賀町議会議員

議席番号 4 番

氏名 中村 ひとみ



一般質問通告書

③

令和 5 年 5 月 31 日
 午前/午後 1 時 00 分 受領

質問事項	質問要旨 (具体的内容)	答弁を求める者
4. まちづくりについて	<p>まちづくりに関しては、町民の利便性に不均衡があるのではないかと感じており、実際に「まちづくりには地域的な偏りがありアンバランスである」、あるいは「合併後、役所の機能、あるいは町立病院なども移設され、余計に不便になり、利便性が悪くなった」、「会食などで利用できる交流施設がない」という話もよく耳にする。このような住民の声を町施策に是非生かしてほしいが、このバランスの不均衡という事に関し、今後どのように取り組んでいくのか伺う。</p>	町 長

上記のとおり通告します。

令和 5 年 5 月 31 日
 西和賀町議会議員 高橋 雅一 殿

西和賀町議会議員
 議席番号 4 番
 氏名 中村 ひとみ

一般質問通告書

①

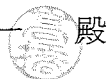
令和 5 年 5 月 31 日
午前(午後) 3 時 00 分 受領

質問事項	質問要旨(具体的内容)	答弁を求める者
1. 沢内バーデンの在り方について	<p>3月定例会の町長施政方針において、沢内バーデンの望まれる在り方を含め、適切な管理運営と整備を図っていくと述べている。沢内バーデンの現状と今後の在り方について伺う。</p> <p>① 以前は温泉・宴会・宿泊・食堂・会議室・売店等があった。現在は日帰り温泉が中心であるが、再開できる見込みのある部門は何か。</p> <p>② 再開するにあたっての修繕費は、どの程度と見積もっているか。</p> <p>③ 宴会施設は町内冠婚葬祭で一定の役割を持っており、運営の仕方によっては十分採算を合わせることができる部門であると思われる。コロナウイルス感染症の位置づけが2類から5類に移行した現在、町民が望んでいるのもこの部門と思われるが、再開するにあたっての問題点は何か。</p> <p>④ このような施設には、以前のような支配人など責任者が必要と思うが、現在支配人は配置されているか。</p> <p>⑤ 料理提供は、仕出し形態とするべきではないか。町内業者が協力し仕出し形態とすべきであると考えているが検討されているか。</p> <p>⑥ 宴会の場合、バス運行が必要と考えるが、町民バス、お出かけバス、オンデマンド型など利用形態を検討するべきではないか。</p> <p>⑦ 温泉施設を継続する場合、以前議会にも説明されたクアオルトの計画は進行しているのか。</p>	町長

上記のとおり通告します。

令和 5 年 5 月 31 日
西和賀町議会議長 高橋 雅 殿

西和賀町議会議員
議席番号 8 番
氏 名 高橋 宏



一般質問通告書

②

令和 5 年 5 月 31 日
午前/午後 3 時 00 分 受領

質問事項	質問要旨 (具体的内容)	答弁を求める者
2. 西和賀町地域公共交通計画について	<p>地域公共交通について、本年計画策定されるものだが現状と問題点について伺う。</p> <p>① JR北上線と支線である町民バス等の接続の最適化が重要とあるが現在列車とバスの接続に問題はないか。</p> <p>② 公共交通を維持確保するため収入源の確保とある。利用料金値上げを検討するということか。</p> <p>③ 町民バス及びスクールバスにおける車両の相互融通とある。スクールバスを町民が利用するにあたっての条件等はないのか。</p> <p>④ デマンド型交通とある。どのような利用が可能か。</p>	町長 教育長
3. 第3次西和賀町行政改革大綱について	<p>行政改革大綱について見直しが見直しが示されているが、新たな資金運用方法として「国債の購入を検討します」とある。メリット・デメリット含めて具体的内容について伺う。</p>	町長

上記のとおり通告します。

令和 5 年 5 月 31 日
西和賀町議会議員 高橋 雅一 殿



西和賀町議会議員
議席番号 8 番
氏名 高橋 宏



一般質問通告書

①

令和 5 年 5 月 31 日

午前(午後) 2 時 45 分 受領

質問事項	質問要旨 (具体的内容)	答弁を求める者
1. 子育て環境の充実について	<p>(1) 出産施設のない町では、産前産後のケアに力を入れる必要があると考える。妊産婦検診への助成は行っていると理解しているが、この度県の岩手県妊産婦アクセス支援事業費補助金交付要綱の一部改正が行われ、妊産婦検診時の交通費助成の対象範囲が拡大された件について伺う。</p> <p>①町では取り組むのか、現在の検討状況はどのようなのか。</p> <p>②取り組む場合、町内外の医療機関が対象であると考えられるが、横手市など県境を越える医療機関も対象にすべきと思うが、どうか。</p> <p>(2) 妊産婦の心身の健康のためには産婦人科医ないしは助産師との連携が不可欠であると考ええる。</p> <p>①産婦人科医、または助産師との連携に関し、町ではどのように取り組んでいるか。</p> <p>②西和賀さわうち病院に助産師を配置する事は検討していないか。</p> <p>(3) 子育て世代からの要求が多く、以前から町で検討が行われている子育て支援センターについて伺う。</p> <p>①厚労省が各市町村へ設置を求めている「こども家庭センター」とはどのようなものか、今後町で設置を検討するならば「こども家庭センター」ということになるのか。</p> <p>②町での設置に向けた検討状況はどうか。また、設置に向け、住民ニーズを把握する必要があると考えているが、ニーズ調査などを実施する予定はないか。</p>	町長 教育長

上記のとおり通告します。

令和 5 年 5 月 31 日

西和賀町議会議員 高橋 雅一 殿



西和賀町議会議員

議席番号 3 番

氏名 普本 歌織



一般質問通告書

②

令和 5 年 5 月 31 日

午前/午後 2 時 45 分 受領

質問事項	質問要旨 (具体的内容)	答弁を求める者
1. 子育て環境の充実について	<p>(4) 第2期子ども・子育て支援事業計画が来年度 (R6) で終了し、今年度は第3期計画に向けて、課題を洗い出し、町民のニーズを調査する年になっている。町民のニーズの把握はいつ、どのように、実施するのかを伺う。</p> <p>(5) 今年度から県で取り組むことになっている0、1、2歳児の保育料の補助について、町での取り組みを伺う。 ①町では取り組むのか、また取り組む場合の支援の内容についてどのように考えているか。 ②在宅育児への補助金については取り組む予定があるか、また取り組む場合の支援の内容についてはどう考えているのか。</p> <p>(6) 国保税の子どもの均等割りについては、令和4年11月に減免するよう請願が提出され、同年12月定例会において採択されているが、その後の検討の経過を伺う。</p>	町長 教育長
2. 移住・定住促進について	<p>・2019年度版移住者向けパンフレット『NISHIWAGA LIFE GUIDE BOOK』について伺う。 ①配布範囲、印刷部数等パンフレットがどのように活用されたのか。 ②現在このような移住者向けの発行物が用意されているか、用意されているのならばどのように活用されているか。</p>	町長
3. 補聴器購入助成について	<p>・認知症施策推進大綱において、難聴は認知症の危険因子の一つに挙げられている。加齢性難聴は軽度のうちにケアすることが必要と考えるが、町では軽度難聴者への補聴器購入の助成制度の検討がなされているのか伺う。</p>	町長

上記のとおり通告します。

令和 5 年 5 月 31 日

西和賀町議会議長 高橋 雅一 殿



西和賀町議会議員

議席番号 3 番

氏名 普本 歌織



一般質問通告書

令和 5 年 5 月 31 日

午前/午後 1 時 00 分 受領

質問事項	質問要旨 (具体的内容)	答弁を求める者
1. 町民バスの運行について	<p>① 町民バスの運行開始から2年が経過したが、この2年間の運行についての総括を伺う。</p> <p>② 各路線の乗車率を伺う。</p> <p>③ 令和5年3月には時刻表の改正も行われているが、これはJR北上線のダイヤ改正に伴うものと認識している。その他に考慮した点があるのか伺う。</p> <p>④ JR北上線との乗り継ぎについて、横手方面との乗り継ぎが非常に不便である。なぜこのような時刻表としたのか伺う。</p> <p>⑤ 西和賀高校には横手方面から通学している生徒がいると伺っているが、その生徒の通学の際の乗り継ぎについて、現状を把握しているのか伺う。</p> <p>⑥ 夕方のほっとゆだ駅行きのバスについて、西和賀高校の生徒が多く乗車したことがあり、一般の方が乗車できなかったとの話を聞いた。こういった件も含め、利用者から寄せられている意見、要望等の内容を伺う。</p> <p>⑦ おでかけバスについて、旧湯田の各方面の便数だが、週1便では少ないと感じる。また、旧沢内については東側幹線の運行がないようだが、このようになった経緯を伺う。</p>	町長 教育長

上記のとおり通告します。

令和 5 年 5 月 31 日

西和賀町議会議員 高橋 雅一 殿



西和賀町議会議員

議席番号 5 番

氏名 高橋 敏 樹



一般質問通告書

①

令和 5 年 5 月 31 日

午前/午後 2 時 15 分 受領

質問事項	質問要旨（具体的内容）	答弁を 求める者
1. 西和賀町まちづくり基本条例とその検証委員会について	<p>① 平成 24 年に「西和賀町まちづくり基本条例」施行と同時に「西和賀町まちづくり基本条例検証委員会条例」が施行されているが、これまで委員はどのように委嘱され会議はどのように開かれて来たか。</p> <p>② この間、平成 29 年の行政改革審議会の会議録には、同審議会とまちづくり基本条例検証委員会の役割分担に触れ、町は「基本条例検証委員会を定期開催し、運用状況等を検証する」と答えている。一方で令和 2 年 3 月定例議会における刈田議員による条例の検証と見直しに関する質問に町は「平成 25 年から 26 年まで検証委員会で検証作業を行った。条例制定から間もなかったため、検証する事項がないことで終了」と答えている。また「第 2 次総合計画後期基本計画の策定の段階において、検証委員会での議論、条例の見直しなどに取り組んでまいりたい」と答えている。現在までの検証委員会の取組はどうなっているか。</p>	町 長
2. 町の情報発信と町民との対話について	<p>① 西和賀町地域公共交通計画（仮称）素案に係りパブリックコメントを実施していたが、意見の提出件数は何件あったか。</p> <p>② 各種の計画策定において、町がパブリックコメントを募集した事業にはどんなものがあり、それぞれ意見提出ほどの程度あったか。</p> <p>③ 今回のパブリックコメントについてどのような周知方法をとったか。町広報や告知端末放送などでの告知は行ったか。</p> <p>④ 町ホームページに今回のパブリックコメント募集の掲載はあったが、ホームページトップの「新着情報・お知らせ」には記載が無く、ホームページ内「ホーム>行政・しごと・産業>広報・広聴」と深い階層にあり、パブリックコメントの実施を知らない町民がその存在を知るのは困難と思われるがどうか。</p>	町 長

上記のとおり通告します。

令和 5 年 5 月 31 日

西和賀町議会議長 高橋 雅一 殿



西和賀町議会議員

議席番号 2 番

氏名 真 嶋 実



一般質問通告書 ②

令和 5 年 5 月 31 日

午前/午後 2 時 15 分 受領

質問事項	質問要旨（具体的内容）	答弁を 求める者
2. 町の情報発信と町民との対話について	<p>⑤ 町の情報発信にとってホームページは有効な手段であるがホームページの管理体制について伺いたい。各ページには、「更新日」の表記があるが当町ホームページには「2020年05月08日」から更新されていないページが多く、日付が更新されたページがあってもその上位階層が古い日付のままというものが多々見受けられる。管理・運用体制の見直しが必要ではないか。</p> <p>⑥ 町総合計画の基本構想審議会では委員を公募したが、応募がないまま審議が進められたと聞くが事実か。</p> <p>⑦ 公共交通計画・町総合計画といった最重要課題を進める際に、町民との対話をどう進めていくか姿勢を伺いたい。</p>	町 長
3. 町内各地域づくり組織活動への町職員参画について	<p>① 年度末の3月には町内各地域づくり組織（協議会並びに行政区）で総会が開催されたと思うが、町職員の出席状況を伺いたい。</p> <p>② 町の対応は「地域づくり組織の総会には集落支援員が対応するが、6名しかいないので出席を求める地区は早めに申し出てほしい」との内容で間違いないか。</p> <p>③ 地域づくり組織の総会は各地区一斉に開催され集落支援員だけで対応するのは困難であり、職員を計画的に配置するべきでなかったか。</p> <p>④ 町職員は自治体職員であると同時に、地域づくり組織の構成員であり、自分事としての参画を期待するところであるが、町として業務として総会等への職員の出席を促すことも必要でないか。</p> <p>⑤ 町内に住民票の無い職員もいると考えるが、自治活動に参加するホームグラウンドとして特定地域の賛助会員として加入し、すべての職員が「地域づくり組織」の一員として帰属することも有意義と考えるがどうか。</p>	町 長

上記のとおり通告します。

令和 5 年 5 月 31 日

西和賀町議会議長 高橋 雅一 殿



西和賀町議会議員

議席番号 2 番

氏名 真 嶋 実



一般質問通告書

③

令和 5 年 5 月 31 日

午前/午後 2 時 15 分 受領

質問事項	質問要旨 (具体的内容)	答弁を 求める者
4. 西和賀町教育振興基本計画の検証と次期計画について	<p>① 本町の教育行政推進に関し「西和賀町教育振興基本計画」が平成 25 年に策定され、令和 4 年度で目標の 10 か年を経過したが、この 10 か年をどのように検証し、その成果をどう評価しているか伺う。</p> <p>② あわせて、次期の「第 2 次西和賀町教育振興基本計画」策定についての考えを伺いたい。</p> <p>③ 岩手県が培ってきた「教育振興運動」と、国がすすめるコミュニティ・スクール (学校運営協議会制度) を丁寧にすり合わせた計画が必要だと考えるがどうか。</p> <p>④ 「教育振興基本計画」には文化創造館の改修事業も計画されていたが目標年度を過ぎ本年ようやく改修の運びとなっている。一方で計画と施工の時間差により、当町の芸術文化活動が停滞を余儀なくされたことも指摘しておきたい。なかでも、平成 16 年から続いてきた中学校演劇講座事業で文化創造館での発表が途切れ、この春湯田中学校を卒業していた生徒達に 3 年間 1 度も銀河ホールの舞台上で発表させることが出来なかったことは残念でならない。</p> <p>同基本計画には「西和賀 4 校交流事業として音楽発表を通して学校間交流を図る」との記載がある。知と情と身体を繋ぐ表現教育は「未来を担う子どもたちの生きる力」を拓くと私は確信している。そのためにも演劇やダンスなど広く舞台表現の合同発表会を開催し、当町のすべての児童・生徒に銀河ホールの舞台を踏む機会を創出することが重要だと考えるがどうか。</p> <p>⑤ 各地区の公民館は廃止されたが「生涯学習センター」整備は進んでいるように見えない。また生涯学習指導者の養成も課題となっている。「出前講座」のように出向いていく「アウトリーチ」と、地域づくり組織や福祉団体との連携＝「社会的包摂」の視点から、これまでの事業実績の検証・評価・見直しが必要だと考えるがどうか。</p>	教育長

上記のとおり通告します。

令和 5 年 5 月 31 日

西和賀町議会議長 高橋 雅一 殿



西和賀町議会議員

議席番号 2 番

氏名 真嶋 実



一般質問通告書

①

令和 5 年 5 月 31 日

午前/午後 10 時 00 分 受領

質問事項	質問要旨 (具体的内容)	答弁を求める者
1. 地域おこし協力隊の受入について	<p>町では、様々な課題の解決に向けて、地域おこし協力隊を受け入れている。</p> <p>① 現時点での採用人数、隊員の主な業務内容について伺う。</p> <p>② 地域おこし協力隊の採用人数は十分だと認識しているか。あわせて改善についての認識を伺う。</p> <p>③ 現状の募集・採用活動について十分だと認識しているか。あわせて改善についての認識を伺う。</p> <p>④ 特に地縁・血縁のない地域おこし協力隊においては、活動に際して手厚いサポートが欠かせないが、町において、サポートが十分にできているか伺う。</p> <p>⑤ 町職員が協力隊をサポートする以外にも、役場-協力隊間、住民-協力隊間などの、いわゆる「中間支援」が必要だと考えるが、「中間支援」についての認識を伺う。</p> <p>⑥ 「おためし地域おこし協力隊」「地域おこし協力隊インターン」など、町の魅力を伝えたり、町と隊員志望者とのミスマッチを防いだりするための制度が生まれている。町はこれまで、そういった制度を利用していないが、その理由と、今後の方針について伺う。</p>	町 長

上記のとおり通告します。

令和 5 年 5 月 31 日

西和賀町議会議長 高橋 雅 殿



西和賀町議会議員

議席番号 6 番

氏名 唐仁原 俊博



一般質問通告書

②

令和 5 年 5 月 31 日

午前/午後 10 時 00 分 受領

質問事項	質問要旨 (具体的内容)	答弁を求める者
<p>2. 県立西和賀高校「ふるさと留学」事業について</p>	<p>町では、県教育委員会と県立西和賀高校、あるいは地域と協力しながら、県外から入学志望者を受入れる、いわゆる「ふるさと留学」事業を行っている。</p> <p>① 当該事業開始からこれまでの、受入や問い合わせの状況について伺う。</p> <p>② 来年度に向けて、すでに「西和賀ふるさと留学生」の募集を開始しているが、現時点での反響を伺う。</p> <p>③ 入学志望者を確実に集めるためにも情報発信は欠かせないが、どのような活動を予定しているかを伺う。</p> <p>④ 当該事業では、県外から町内への引っ越しが前提になるが、学生寮の類の整備状況について伺う。</p> <p>⑤ 当該事業の今後の展望について伺う。</p>	<p>町 長 教 育 長</p>
<p>3. 町外に向けての情報発信について</p>	<p>情報発信がさまざまな分野で不足しており、特に動画での発信がほぼ行われていないのが町の現状だと考える。観光PR、地域おこし協力隊の募集、あるいは西和賀高校のアピールなど、今後、さまざまな動画を継続的に作成し、発信していくべきではないか。考えを伺う。</p>	<p>町 長</p>

上記のとおり通告します。

令和 5 年 5 月 31 日

西和賀町議会議長 高橋 雅一 殿



西和賀町議会議員

議席番号 6 番

氏名 唐仁原 俊博

